

第24回海洋開発シンポジウムの開催について

1999年5月19日[水]・20日[木]

BOX番号 234510

下記のように第24回海洋開発シンポジウムを開催致しますので、多数ご参加下さいませようお願い申し上げます。

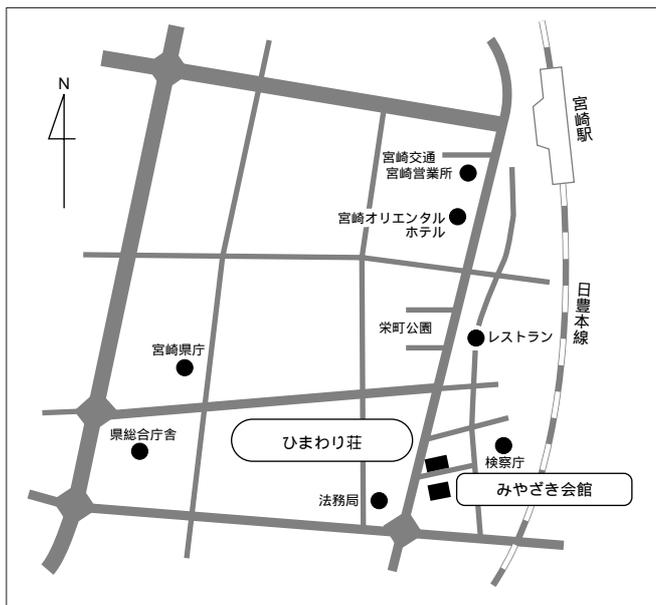
主催 土木学会（担当：海洋開発委員会）
後援 宮崎県
協賛 宮崎県港湾建設協会、全日本漁港建設協会宮崎県支部、宮崎コンベンションビューロー
期日 1999年5月19日(水)～20日(木)の2日間
場所 みやざき会館（宮崎市瀬頭2丁目1-10、TEL：0985-29-3711）
 ひまわり荘（宮崎市瀬頭2丁目4-5、TEL：0985-24-5286）
 (交通)： JR宮崎駅下車 徒歩10分
 宮崎空港から路線バス宮崎駅まで24分
 宮崎空港から車で20分

総合受付 : みやざき会館2階
第1～第3会場 : みやざき会館
第4会場 : ひまわり荘
論文集 当日会場で実費頒布致します。(6000円)
参加費 2000円
参加方法 当日会場で参加費をお支払いの上、ご参加下さい。(事前申し込みは必要ありません。)

問合せ先 土木学会・研究事業課（担当：磯崎）
 TEL 03-3355-3559 / FAX 03-5379-0125
プログラム 1論文15分（発表10分、討議5分）

懇親会
 1. 日時 5月19日(水) 17:30～19:30
 2. 会場 みやざき会館3階「はまゆうの間」
 3. 参加費 4000円
 4. 申込方法 5月19日(水)10:00～シンポジウム総合受付にてお申し込み下さい。

見学会
 1. 日時 5月20日(木)1便 - 9:00～12:00
 2便 - 13:00～16:00
 2. 場所 会場 宮崎港 宮崎海岸 オーシャン45 シーガイア
 平和台公園 宮崎神宮 会場
 3. 参加費 2000円
 4. 申込方法 申込方法：5月19日(水)10:00～シンポジウム総合受付にてお申し込み下さい。(先着順、定員で締め切ります)



プログラム

- 第1会場**
 9:20～9:30 開会挨拶：海洋開発委員会委員長 佐伯 浩
 9:30～10:45 防波堤・護岸 司会：高山知司（京都大学）
 1 フレア型護岸の大水深域への適用における護岸水理特性の検討
 村上啓介・小長野幸（宮崎大学）・片岡保人（神戸製鋼所）
 2 不規則波に対する重力式カーテン防波堤の波浪制御効果について
 中村孝幸（愛媛大学）・中村文彦・川部正司（兵庫県）
 井上温人・森本 睦（㈱ニュージェットク）
 3 傾斜板列を前面壁とする二重式カーテン防波堤による波浪制御効果について
 中村孝幸・神川裕美（愛媛大学）
 河野 徹・楨本一徳（復建調査設計）
 4 ケーソン式低天端護岸の水理特性に関する研究
 岩瀬浩二・池谷 毅（鹿島建設）
 安部鐘一（北海道電力）・能登谷勇人（北電興業）
 5 浅海域を対象とした非越波防波護岸断面の基礎的特性
 上久保祐志・入江 功・神田一紀・井口 要（九州大学）
 村上啓介（宮崎大学）・片岡保人（神戸製鋼所）
 10:45～11:00 休憩

- 第1会場**
 11:00～12:30 建造物の災害 司会：角野昇八（大阪市立大学）
 6 越波被害の実態に関する全国調査
 加藤史訓・笠井雅広・佐藤慎司・今村能之（建設省）
 7 護岸の洗掘被災特性
 高山知司・間瀬 肇（京都大学）・井上雅夫・安田誠宏（関西大学）
 8 緩傾斜一層被覆ブロックの被害機構に関する実験的研究
 太田恵子（共和コンクリート工業）
 9 波向の不確実性が防波堤堤体の滑動遭遇確率に及ぼす影響
 河合弘泰（運輸省）
 10 砕波帯外縁に設置されたケーソン防波堤の滑動現象と補強工
 池谷 毅・漆山 仁・滝本邦彦（鹿島建設）
 11 混成堤マウンド被覆石の安定性に関する実験的研究
 杉野輝彦・古田喜代志（運輸省）
 森川高德・金田研一郎（玉野総合コンサルタント）
 12:30～13:30 昼食・休憩

- 第1会場**
 13:30～15:00 浮体・長周期波 司会：合田良実（横浜国立大学）
 12 没水平板を持つ矩形浮体の動揺特性について
 武村 武・落合 実・遠藤茂勝（日本大学）
 13 非対称係留特性を有する浮体の長周期動揺
 谷垣信吉・尾崎雅彦（三菱重工業）
 14 港内係留船舶の長周期動揺に関する現地観測と動揺シミュレーションの入力条件の評価
 朝崎勝之・松尾憲親（九州電力）
 鶴飼亮行・森屋陽一（五洋建設）
 津金正典（日本海洋科学）
 15 反射波吸収式造波装置で励起される潜堤背後の長周期流速変動
 山城 賢・吉田明徳・入江 功・越智宏充（九州大学）
 16 外洋性コンテナターミナルの係留設備の設計および運用に関する基礎的研究
 白石 悟（運輸省）
 笹 健児（日本海洋科学）
 17 外洋に面した海岸における長周期波の特性（茨城県波崎海岸研究施設における現地波浪観測）
 瀬戸口喜祥・浅野敏之・中村和夫（鹿児島大学）
 15:00～15:15 休憩

- [特別講演]** 司会：佐伯 浩（北海道大学）
 15:15～16:15 「日向灘海岸の野生動物について」
 中島義人（宮崎野生動物研究会会長）
 16:15～17:15 「養殖場からの栄養塩負荷と閉鎖循環式養殖の展望」
 丸山俊朗（宮崎大学土壌環境工学科教授）

- 第2会場**
 9:30～10:45 環境創造・評価 司会：矢内栄二（東亜建設工業）
 18 人工タイドプールの開発
 綿貫 啓・廣瀬紀一・長谷川実・高橋邦正・古澤 晃（テトラ）
 19 北部九州の海岸地区における音環境の基本特性に関する計測調査
 片山正敏（九州共立大学）
 20 大規模海洋構造物の環境影響評価モデルの開発
 田中昌宏（鹿島）
 J. van Kester (Delft Hydraulics, The Netherlands)

	池谷 毅・滝本邦彦(鹿島)	42	汚濁防止膜による流況制御に関する研究 小野正順・出口一郎・安井章雄・有光 剛(大阪大学)
21	セルオートマトンを用いた底生動物の変動予測に関する研究 市村 康(日本ミクニヤ)・松原雄平・野田英明(鳥取大学)	43	衰耗したチェーンに関する応用集中の解析 関田欣治(東海大学)・内海秀幸(千葉工業大学)・ 新田 宏(浜中製鐵工業)
10:45~11:00	休憩	44	係留アンカーの把駐特性の検討 前野賀彦・石川元康(日本大学)・熊谷裕児・ 村川 博(海洋工事汚濁防止協会)
第2会場		第3会場	
11:00~12:30	生態環境 司会: 棚瀬信夫(鹿島建設)	13:30~15:00	地盤 司会: 辰巳 勲(清水建設)
22	ウニの摂餌への漂砂の影響に関する実験的研究 山下俊彦・高橋和寛・金子寛次・新山雅紀・ 峰 寛明(㈱エコニクス)・坪田幸雄(北海道開発局)	45	北海道東方沖地震により被害を受けた漁岸壁の変形解析 神原一雄・田中則夫・服部憲和(北海道)・ 林 克恭・鈴木将之(アルファ水工コンサルタンツ)
23	波浪によるキタムラサキウニの深浅移動に関する実験的研究 桑原久美(北海道立中央水産試験場)・川俣 茂(水産庁)・ 高橋和寛・山下俊彦(北海道大学)	46	島嶼県沖縄における耐震強化岸壁の設計 親泊正孝(沖縄総合事務局)
24	水産種苗の生息場形成条件に関する研究 - ヒラメ種苗の流動耐性と潜砂能力 - 瀬戸雅文(北海道立中央水産試験場)・ 巻口範人(北海道栽培漁業振興公社)・ 高谷義幸(北海道立函館水産試験場)	47	軟弱地盤における地中内鋼矢板の変形解析 鶴田則夫(北海道)・林 克恭・ 奥野正洋(アルファ水工コンサルタンツ)
25	大型藻類のゾーネーションに関する研究 - アラメ・カジメの垂直分布と光環境 - 菅原顕人・小松輝久(東京大学)・ 瀬戸雅文(北海道立中央水産試験場)・佐藤博雄(東京水産大学)	48	根固め矢板による重力式岸壁の耐震補強工法の開発 北澤壮介・真鍋昌司(沿岸開発技術研究センター)・ 秋山義信(鹿島)・三藤正明(五洋建設)・龍田昌毅(交換杭協会)
26	浜田漁港における藻場造成を考慮した防波堤の効果評価 佐見 誠・三橋宏次・鹿田正一・ 中西 敬(漁港漁村建設技術研究所)・勝部昌彦・寺嶋 博(島根県)	49	杭基礎上のケーソン岸壁の地震時応答に及ぼす杭長の影響について 高谷富也(舞鶴工業高等専門学校)・前野賀彦(日本大学)・ 高橋重雄・下迫健一郎(運輸省)
27	流れ藻留め工構造の水利的検討 長谷川寛(電力中央研究所)	50	多層マウンド上のケーソンと波の非線形相互作用に関する研究 水谷 法美・モスタファ・アイマン(名古屋大学)
12:30~13:30	昼食・休憩	第2日目 5月20日[木]	
第2会場		第1会場	
13:30~15:00	生態系の保全 司会: 鹿島遼一(電力中央研究所)	9:00~10:15	砕波・不規則波 司会: 吉田明德(九州大学)
28	沿岸構造物における魚類産卵場の可能性 - ハタハタを例として - 伊東公人・永田晋一郎(北海道開発局)・津村 憲(北海道東海大学)	51	PIVによる人工リーフ上砕波時の速度ベクトル場に関する実験的研究 斎藤久久・石田 啓・大平英継(金沢大学)
29	北海道日本海側磯焼け海域における藻場造成 - ウニの食害を排除した藻場造成 - 廣瀬紀一・綿貫 啓・川嶋昭二・斎木正道・ 半沢 稔(テトラ)・北尾修二(東洋ガラス)	52	一定水深域に設置された潜堤による不規則波の砕波について 許 東秀・松本幸久・岩田好一朗・水谷法美(名古屋大学) 川崎直人(中部電力)・富田孝史(運輸省)
30	カブトガニ棲息場として見た岡山県笠岡市夏目海岸周辺の砂嘴・干潟の地形特性 土屋康文(総合ビデオリサーチ)・宇多高明(建設省)・ 清野聡子(東京大学)・土屋圭示(日本カブトガニを守る会)・ 大重義法(岡山県笠岡市立東中学校)	53	矩形ステップ上の不規則波の非線形挙動に関する実験的研究 合田良実・牧野トモ子(横浜国立大学)
31	磯浜海岸における付着動物相と底質特性に関する現地調査 井上雅夫・島田広昭・桜井秀忠・ 端谷研治(関西大学)	54	粒子法による透水斜面上の砕波・遡上過程の数値シミュレーション 後藤仁志・酒井哲郎・ 沖 和哉(京都大学)
32	横浜市平潟湾野島水路開放に伴う生物動態調査 棚瀬信夫・林 文慶・越川義功・中村華子(鹿島建設)・ 工藤孝浩(神奈川県)・関口昌幸・相原健彦(横浜市)・ 早川厚一郎(金沢漁業組合)・村橋克彦(横浜市立大学)	55	数値波動水路の耐波設計への適用に関する研究 - VOF法基本プログラムの作成 磯部雅彦・余 錫平(東京大学)・高橋重雄・蔣 勳(運輸省)・ 神山 勉(電力中央研究所)・藤岡功司(防衛大学校)・ 川崎浩司(大阪大学)・秋山 実(富士総合研究所)・ 大山洋志(沿岸開発技術研究センター)
33	海岸ミティゲーション的視点から見た北九州糸島半島におけるカブトガニ産卵地の現地踏査 清野聡子・日野明日香(東京大学)・ 宇多高明(建設省)・土屋康文(総合ビデオリサーチ)	10:15~10:30	休憩
第3会場		第1会場	
9:30~10:45	施工・機器・設備 司会: 藤田良一(鹿島建設)	10:30~12:00	波浪特性 司会: 佐藤慎司(建設省)
34	水底トンネル押し出し工法の開発 伊藤一教・東江隆夫・鎌田幸伸・和田憲治・内藤正光(大成建設)	56	太平洋南岸の極値波高統計の母分布関数について 合田良実・竹下直樹(横浜国立大学)・永井紀彦(運輸省)
35	阿字ヶ浦海岸漂砂観測用柵橋の撤去工事と腐食・防食調査 山本幸次・笠井雅弘・佐藤慎司(建設省)	57	観測データによる大阪湾における高潮と高波の同時生起特性 國富将嗣・高山知司・間瀬 肇・吉岡 洋(京都大学)
36	矢板式係船岸の施工中の変形挙動の数値解析 大横正紀・佐伯公康(水産庁)・ 鹿田正一(漁港漁村建設技術研究所)・馬場慎太郎(東洋建設)	58	透過堤を含む港湾域の波高分布の算定法に関する研究 中村孝幸(愛媛大学)・佐伯信哉(荒谷建設コンサルタント)
37	磁気伝送による埋立地盤沈下計測システム 木原 力・ 沖 政和(ハザマ)・木村象二郎(坂田電機)	59	非線形分散波モデルの予測精度評価と線形波モデルとの接続 申 承鎬・高畑栄治・入江 功(九州大学)・村上啓介(宮崎大学)
38	ケーソンマウンド基礎防護ネットの安定性および耐久性に関する研究 佐藤孝夫(運輸省)・今井 誠・北村卓也(住友金属工業)	60	波変形解析のための2次元波・流れ共存場のモデル化 モハマド モヒッディン・富樫宏由・平山康志(長崎大学)
10:45~11:00	休憩	61	潜堤上の構造物に作用する波力の特性とMorison式の適用性に関する研究 水谷法美・許 東秀・米髯 嘉智・岩田好一朗(名古屋大学)・ 倉田克彦(東洋建設)・遠藤正男(東洋水研)
第3会場		12:00~13:00	昼食・休憩
11:00~12:30	施工・機器・設備 司会: 高桑 明(大林組)	第1会場	
39	底開・全開バージによる土砂投入形状の現地比較実験 荒井 清・太田正規・五明美智男・ 矢内栄二(東亜建設工業)・松見吉晴(鳥取大学)	13:00~14:15	波力 司会: 遠藤茂勝(日本大学)
40	砂粒径分布の画像解析手法の開発 青柳 明(日本大学)・田中勝也・香取完和 (コストアルエンジニアリング)・久保田進・竹澤三雄(日本大学)	62	大型橋式構造物に作用する多方向不規則波による揚圧力 高橋俊彦・池谷 毅・滝本邦彦・宮本久士(鹿島建設)
41	水中不分離性コンクリートに及ぼす混和材の影響 梅村靖弘・山崎貴之・原田 宏(日本大学)	63	消波工の波力低減特性に関するブロックスケールとレイノルズ数の効果 井田康夫・萩原照史・中村晋太郎・森松芳隆(大阪工業大学)
		64	衝撃砕波力問題の数値解析 渡部清憲・王 毅・大塚淳一・安原幹雄・佐伯 浩(北海道大学)・ 松本靖治(東亜建設工業)・早川哲也(開発局)

- 65 孤立波に対する無係留半潜水型浮体構造物の運動応答に関する実験的研究
飯塚智樹・新井信一・長尾昌朋・上岡充男(足利工業大学)
- 66 小口径円柱に作用する多方向不規則波の波力と波力算定式に関する実験的研究
水谷法美・吉田幸一・栗本あかね・岩田好一朗(名古屋大学)・川嶋直人(中部電力)
- 14:15~14:30 休憩

第1会場

- 14:30~16:00 流れ・振動 司会:久保田進(日本大学)
- 67 水中トンネルの二自由度フラッター振動応答特性
飯島 徹・近藤淑郎(室蘭工業大学)・佐藤靖尚(鹿島建設)・大塚夏彦(北日本港湾コンサルタント)
- 68 波動場中の円柱近傍の流れ構造に関する数値解析
佐藤幸雄(北見工業大学)・濱中健一郎(北海道東海大学)
- 69 長期観測データに基づく石狩湾沿岸の流動特性
福本 正・多田彰秀・橋本 剛(西松建設)・新山雅紀・星 秀樹・山下俊彦(北海道大学)
- 70 津波時の港内流況の可視化計測
大谷英夫・小林昭男(大成建設)・高尾 誠(東京電力)・藤井直樹・大森政則(東電設計)
- 71 海底に落下する密度噴流の拡散現象
新井信一・長尾昌朋・上岡充男・新井孝法・千田勝幸(足利工業大学)
- 72 混気圧送における液相スラッグの生成流動に関する研究
鈴木理仁・落合 実・遠藤茂勝(日本大学)
- 16:00~16:10 閉会挨拶 海洋開発委員会副委員長 原田 宏

第2会場

- 9:00~10:15 海水交換 司会:新井信一(足利工業大学)
- 73 潮位変動を考慮した海水交換型防波堤の開発
川嶋直人・中村昭男(中部電力)・早瀬松一(シーテック)
- 74 衝立パネル式ケーソンの海水交換特性に関する実験的研究
島田 潔・松原直哉・吉村正・神瀬 哲(三井造船)
- 75 開口突出管付透過式防波堤の水理特性に関する研究 - 開口突出管内の流速特性について -
橋元 剛・多田彰秀(西松建設)・系列長敬(東京水産大学)
- 76 秋田県金浦漁港における海水交換を目的とした防波堤の効果
国金博和・三橋宏次・鹿田正一・政所 亮・三浦 浩(漁港漁村建設技術研究所)・高橋隆二(秋田県)
- 10:15~10:30 休憩

第2会場

- 10:30~12:00 漂砂調査 司会:東江隆夫(大成建設)
- 77 千葉県九十九里浜一松海岸の侵食実態と今後の対策の方向性
宇多高明(建設省)・西村 晋(土木研究センター)・国柄広志(日本海洋コンサルタント)
- 78 島の背後に伸びた砂州(comet tail)の形状と卓越波向の関係 - 北九州の姫島, 間島を例として -
宇多高明(建設省)・清野聡子(東京大学)・三波俊郎・芹沢真澄・古池 鋼(海岸研究室)
- 79 茅ヶ崎海岸ヘッドランド東側地区での浜崖形成機構の現地調査
宇多高明(建設省)・坂本 担・田代由貴(神奈川県)・西村 晋(土木研究センター)
- 80 伊良湖西の浜海岸の海岸過程に関する考察 - その続報 -
村上宗隆・金田研一郎(玉野総合コンサルタント)・岩田好一朗(名古屋大学)
- 81 石狩湾新港における防波堤周辺の海浜地形について
戸巻昭三(クマシロシステム設計)・竹沢三雄(日本大学)
- 82 現地踏査による福島県久浜・四倉・夏井海岸の海岸保全上の問題点の整理
芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼(海岸研究室)・宇多高明(建設省)・清野聡子・渡辺宗介(東京大学)・田子洋一・平野宜一(建設技術研究所)
- 12:00~13:00 昼食・休憩

第2会場

- 13:00~14:15 海浜の安定 司会:宇多高明(建設省)
- 83 デンマークおよびスウェーデンの海岸事情について
西隆一郎(鹿児島大学)・宇多高明(建設省)・長谷川準三(エコー)
- 84 斜め空中写真を用いたサンゴ礁海岸の地形特性の判読
大中 晋(ドラムエンジニアリング)・宇多高明(建設省)・遠藤秀文(日本工営)・芹沢真澄(海岸研究室)
- 85 珊瑚礁リーフ海域における人工海浜の安定化に関する検討
平山克也・丸山晴広・平石哲也(運輸省)
- 86 非対称振動流場での地形侵食速度に関する実験的研究
山下俊彦・金子寛次・宮下将典(北海道大学)・

竹田義則(北海道開発局)

14:15~14:30 休憩

第2会場

- 14:30~16:00 構造物と砂 司会:作田岩穂(東亜建設工業)
- 87 砂面安定用マット周辺の流れと漂砂の解析
伊福 誠(愛媛大学)・林 秀郎(大林組)
- 88 お台場海浜公園の海浜変形とその保全に関する一考察
石川仁憲・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼(海岸研究室)・宇多高明(建設省)・清野聡子・渡辺宗介(東京大学)
- 89 緩傾斜護岸に係わる様々な問題点の整理
宇多高明(建設省)・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼(海岸研究室)・清野聡子(東京大学)
- 90 青森県三沢漁港周辺の海浜変形の現地踏査と今後の侵食対策に関する考察
宇多高明(建設省)・渡辺宗介・清野聡子(東京大学)・芹沢真澄・三波俊郎(海岸研究室)
- 91 閉じた漂砂系での離岸堤設置に伴う周辺海岸での海岸浸食とその防止策の検討
三波俊郎・芹沢真澄・古池 鋼(海岸研究室)・宇多高明(建設省)・鶴谷純夫・高野泰隆・大木康弘・賀上祐二(水圏科学コンサルタント)・神田康嗣・五十嵐竜行(エムエーシー)
- 92 北部九州の防風林海岸地区における空気中海塩粒子の分布に関する計測調査
片山正敏(九州共立大学)

第3会場

- 9:00~10:15 原油流出 司会:友広 勲(大成建設)
- 93 オホーツク海における原油流出事故による被害予測
大塚夏彦・多田英彦(北日本港湾コンサルタント)・大島香織・宇佐見宣拓・佐伯 浩(北海道大学)・米田克幸・高橋伸次郎(西村組)
- 94 流出した原油の回収に関する基礎的実験
高橋伸次郎・米田克幸(西村組)・大島香織・佐伯 浩(北海道大学)・大塚夏彦(北日本港湾コンサルタント)
- 95 氷盤下にトラップされた流出原油の氷盤中への滲透
大島香織・大塚夏彦・石川博基・高橋伸次郎(西村組)・渡部靖憲・橋 治国・佐伯 浩(北海道大学)
- 96 低温条件下における流出原油の変質過程と粘度の簡易測定法
大島香織・大塚夏彦・石川博基・宇佐見宣拓・佐伯 浩(北海道大学)・米田克幸(西村組)
- 10:15~10:30 休憩

第3会場

- 10:30~12:00 氷(1) 司会:佐伯 浩(北海道大学)
- 97 氷盤に閉ざされた重力式海洋構造物まわりの地震時動水圧の特性
森田知志(熊谷組)・西垣 亮(三菱重工業)・小林 浩(ハイテクリサーチ)
- 98 氷荷重に与える構造物の剛性影響
亀崎一彦・山内 豊(NKK)
- 99 縦置き氷板による鉛直壁構造物の破壊モード観察
亀崎一彦・山内 豊(NKK)
- 100 鉛直壁構造物に作用する一年リッジ荷重の推定
亀崎一彦・山内 豊・嶋崎克教(NKK)
- 101 サハリン沖における1年性リッジの形状とその設計氷荷重に対する影響
加藤一行(石川島播磨重工業)
- 102 海洋構造物に作用する鉛直方向氷荷重の算定方法に関する研究
寺嶋貴志(パシフィックコンサルタンツ)・成田恭一(島田建設)・大島香織・宇佐見宣拓・佐伯 浩(北海道大学)
- 12:00~13:00 昼食・休憩

第3会場

- 13:00~14:15 氷(2) 司会:原田 宏(日本大学)
- 103 複数破壊領域における氷荷重の推定法に関して
竹内貴弘・佐々木幹夫(八戸工業大学)・赤川 敏・河村宗夫(清水建設)・酒井雅史(大成建設)・松下久雄(三井造船)・寺嶋貴志(パシフィックコンサルタンツ)・中沢直樹(フォレストワークス)・木岡信治・佐伯 浩(北海道大学)
- 104 海底地盤と海水の相互作用に関する基礎的研究
木岡信治・岡部慎也・佐伯 浩(北海道大学)
- 105 海水と諸材料間の凍着強度に関する実験的研究
宇佐美宣拓・岡部慎也・佐伯 浩(北海道大学)・佐藤光一(新日本製鉄)・寺嶋貴志(パシフィックコンサルタンツ)
- 106 海水制御施設アイスプームに作用する氷力的作用形態
蒔田俊輔・宇佐美宣拓・佐伯 浩(北海道大学)・榎 国夫(秋田高専)・原文宏(北海道開発技術センター)
- 107 野外実験における一年氷の基本強度特性について
酒井雅史(大成建設)・松下久雄(三井造船)・

高脇 透(三造試験センター)・河村宗夫(清水建設)・
寺島貴志(パシフィックコンサルタンツ)・
竹内貴弘(八戸工業大学)・佐伯 浩(北海道大学)

14:15~14:30 休憩

第3会場

14:30~16:00 計画 司会:山本治生(鹿島建設)

108 相良海岸の将来を考える公開討論会「オーシャンセミナー」について
宇多高明(建設省)・堀口瑞穂・五味久昭(東海大学)・
石川仁憲(パシフィックコンサルタンツ)・清野聡子・渡辺宗介
(東京大学)・芹沢真澄・三波俊郎・古池 鋼(海岸研究室)

109 学際学科における海岸実習 - お台場人工海浜の自然的・社会的仕組みを学ぶ -
清野聡子・渡辺宗介・池内幸介・猪内 学・木村 幸・
峠井正雄・外山 大・松本 泰輔(東京大学)・
萩谷 宏(巣鴨高校)・宇多高明(建設省)・
石川仁憲(パシフィックコンサルタンツ)

110 漁村の女性に関する問題点と漁港漁村整備
児玉いずみ(漁港漁村建設技術研究所)・中内 勲(北海道開発局)・
松本卓也(漁港漁村建設技術研究所)・長野 章(水産庁)

111 日本の大学における海洋教育科目の分野分布特性
赤見朋晃・和田理恵・清野聡子(東京大学)・濱田隆士(放送大学)
原文宏・平野宣一(建設技術研究所)

112 CVMによる新潟海岸の環境整備便益の計測
今村能之・齋藤 明・佐藤慎司・笠井雅広(建設省)・

113 海岸災害における精神的被害に関する調査
今村能之・川瀬宏文・佐藤慎司・笠井雅広(建設省)・
原文宏・平野宣一(建設技術研究所)

第4会場

9:00~10:15 消波構造物 司会:関田欣治(東海大学)

114 消波室内深を浅くした複数スリット壁直立消波工の消波機能 - BIM解析 -
角野昇八・原山之克(大阪市立大学)・塩崎禎郎(NKK)

115 スリットを有する複断面護岸の反射特性と越流量低減効果について
劉 非・村上啓介・杉尾 哲(宮崎大学)

116 大波浪透過スリットケソン防波堤の機能特性に関する実験的研究
佐藤恒夫・安部 賢・國重康弘(建設省)・
込山 清(ニシキコンサルタンツ)

117 上部スリット式護岸の越波特性について
北野正夫・八木典昭・岡村英貴・目見田哲(関西電力)

10:15~10:30 休憩

第4会場

10:30~12:00 超波 司会:古川 清(ポートコンサルタンツ)

118 没水型鉛直板近傍の波浪流に関する基礎研究
落合 実・鈴木 功・遠藤茂勝(日本大学)

119 緩傾斜堤への波の打ち上げ高さ及び潮上特性に関する現地観測値の基礎的検討
高橋敏彦・沼田 淳(東北工業大学)

120 傾斜堤の越流量等に及ぼす被覆ブロックと上部工の影響
高橋重雄・下迫健一郎・近藤隆隆(運輸省)・
山口貴之(シバタ工業)

121 後部バラベット堤の越波特性と背後マウンド部の安定性
早川哲也・木村克俊・林 志志(北海道開発局)・
土井善和(北日本港湾コンサルタンツ)・渡部靖憲(北海道大学)

122 通水路を有する透過性防波堤に関する研究
森田修二(奥村組)・出口一郎(大阪大学)

123 非越波型護岸の高波浪域への適用における消波工形式の基礎的検討
片岡保人・市川靖生(神戸製鋼所)・上久保祐志・
入江 功(九州大学)・村上啓介(宮崎大学)

12:00~13:00 昼食・休憩

第4会場

13:00~14:15 沿岸施設 司会:宮崎武晃(海洋科学技術センター)

124 超透過性消波工の開発に関する実験的研究 - スペクトル波の分布幅の影響 -
伊藤政博(名城大学)・鈴木秀孝(大日調査設計)・
野口雄二・前田 建(テトラ)・谷山正樹(日鐵建材工業)

125 海上移動式防災支援基地の研究
山本和宏・関田欣治(東海大学)

126 離岸流にともなう海水浴中の事故発生に関する一考察
高橋重雄・常数浩二・鈴木高二朗・西田仁志(運輸省)・
土棚 毅(日本マリーナ・ビーチ協会)・
小林雅彦(日本ライフセービング協会)・小沢保臣(エコー)

127 海区の特性を考えた漁港漁村の将来見通しと具体的課題の設定について
古屋温美(パシフィックコンサルタンツ)・紀本則晃・懸塚 貴
(北海道開発局)・富田 宏(漁村計画研究所)・長野 章(水産庁)

128 海岸護岸施設の景観評価に関する研究

松原雄平(鳥取大学)・永瀬恭二(フジタ)・
野田英明・木田健二(鳥取大学)

14:15~14:30 休憩

MECS講演会

「九州沿岸における海岸工学上の諸問題」
5月18日

九州の海岸線は広大な干潟が出現する有明海を含め多様な性格を有し、しかも地理的にアジアの玄関口として、海運物流にも大きな特徴を有しています。海環境制御施設研究会(略称MECS)では、第24回海洋開発シンポジウムが宮崎で開かれるのを機会に、海洋開発委員会、九州地区海岸工学者の集いと共催で下記の講演会を企画致しております。奮ってご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

- 日時 5月18日[火] 14:30~17:30
- 主催 海環境制御施設研究会(MECS)
- 共催 海洋開発委員会、九州地区海岸工学者の集い
- 会場 宮崎会館(海洋開発シンポジウムと同会場)
- プログラム
 - 有明海沿岸域の環境について
(熊本大学工学部環境システム工学科 滝川 清)
 - 南九州海岸の特徴と工学上の諸問題
(鹿児島大学工学部海洋土木工学科 浅野敏之)
 - 九州沿岸の台風災害(高潮)
(九州共立大学工学部土木工学科 小島治幸)
 - 九州の港湾 - その機能と技術上の諸問題 -
(運輸省第四港湾建設局 中野敏彦)
 - 総括「九州沿岸における海岸工学上の諸問題と解決への取り組み」
(九州大学大学院工学研究科 入江 功)
- 問合先 吉田明德(MECS 西部地区世話人)
〒812-8581 福岡市東区箱崎6-10-1
九州大学大学院工学研究科海洋システム工学専攻
TEL 092-642-3292 / FAX 092-642-3293
E-mail yoshida@civil.kyushu-u.ac.jp
- 参加費 無料